

「くすり」の未来



これまで「くすり」が果たしてきた役割や「くすり」が患者さんに届くまでの流れについて、ご紹介してきました。最終号では、「くすり」の未来について、ご紹介します。

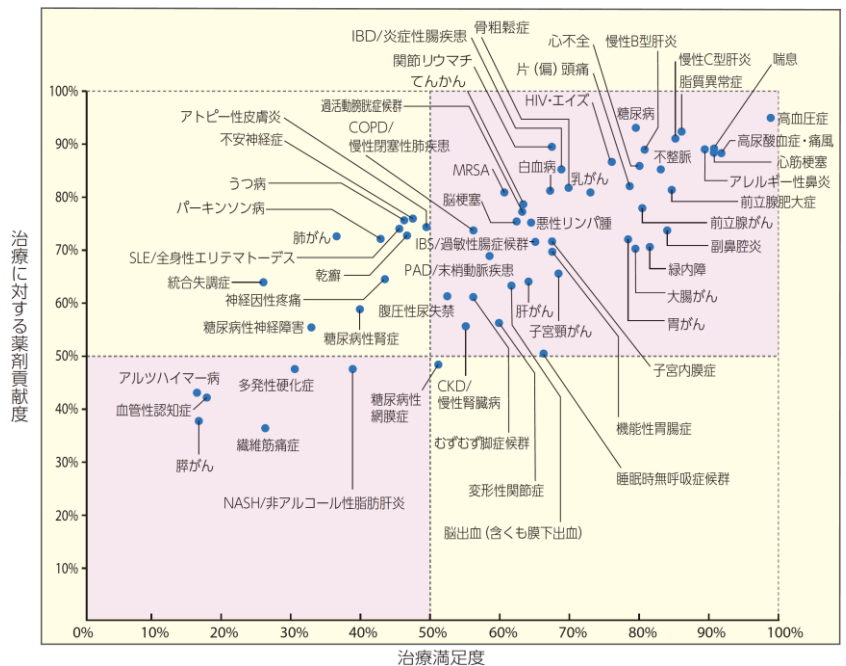
新しい「くすり」の開発

アンメットメディカルニーズへの対応

「アンメットメディカルニーズ」とは、いまだ有効な治療方法が確立されていない病気に対する医療への強い要望を意味します。

グラフの右上の領域にある病気は、新薬の貢献によって治療満足度が高まっています。一方、グラフの左下にある病気は、治療に有効な「くすり」が少なく、新薬の開発が期待されている病気です。

医薬品産業は、社会からの強い要望を受け、アルツハイマー病、精神・神経疾患、がんなどの治療について積極的な研究開発に取り組んでいます。



出典：HS財団による医師に対する医療ニーズ調査結果、2014年度国内基盤技術調査報告書



色々な病気が「くすり」で治るようになってきているんだね！

そうだね！！ただ、やっぱり有効な「くすり」がなくて苦しんでいる人もたくさんいるから、製薬会社は頑張りが足りないといけないね！



こらも 手術をせずに、くすりで治せるようになった病気

手術をしなくても「くすり」で治せるようになったら…患者さんにとって肉体的にも精神的にも、あるいは経済的にもずいぶん負担が少なくなります。このような患者さんの期待を実現した「くすり」として、たとえば、消化性潰瘍^{*}の治療薬は、画期的ともいえる成果を上げています。その「くすり」とは、H2受容体拮抗薬（H2ブロッカー）とプロトンポンプ阻害薬（PPI）です。H2ブロッカーは、ヒスタミンによる胃酸の分泌を抑えて潰瘍を治療します。一方、PPIは、胃酸の分泌にかかわるプロトンポンプの働きを抑えて、潰瘍を治療するくすりです。胃酸を抑える効果は強力で、究極の胃酸抑制薬ともいわれます。この2つの「くすり」によって消化性潰瘍の手術が激減したことから、「外科の病気が内科の病気になった」といわれています。

^{*}消化性潰瘍：食物を分解する働きを持つ胃酸や消化酵素が胃や十二指腸壁を深く傷つけてしまうことによって起こる病気

出典：製薬協 くすりの情報Q&A Q42



「オーファン・ドラッグ」の開発

「**オーファン・ドラッグ**」とは難病なんびょうといわれるような、患者さんの数が少なく治療法も確立されていない病気のための「くすり」のことです。

日本では、「オーファン・ドラッグ」に指定されると、研究開発のための助成金じょせいが国から交付されるほか、できるだけ速やかに患者さんに提供しょうにんしんさできるよう、他の「くすり」に優先して承認審査が行われます。

こうした制度により、患者さんの数が日本全国でわずか数人程度の難病なんびょうのくすりも開発されるようになりました。

「オーファン・ドラッグ」の社会的役割は大きく、今後も各製薬企業で研究開発が進むことが見込まれます。

出典：製薬協 くすりの情報Q&A Q54

～ポンペ病の開発～

ポンペ病は4万人に1人の割合で発症する希少疾患で、筋力低下いしじく、筋萎縮、歩行障害、呼吸障害が出現する難病です。近年、最も劇的な治療上の進歩を遂げた疾患の一つで、その治療薬は2007年4月に日本でも保険承認されています。この治療薬は、自身の子どもがポンペ病に罹患したジョン・クラウリーがベンチャー企業を立ち上げて開発したものであり、その実話を元とした映画「小さな命が呼ぶとき」が日本でも公開されています。

是非一度、ご覧になってください！！

新しい「くすり」の開発に向けて

「**アンメットメディカルニーズ**」や「**オーファン・ドラッグ**」のニーズに対応し、新しい「くすり」を開発していくために、製薬業界は日々奮闘しています。これまでとは異なるアプローチで創薬を行うなど、色々な工夫がなされています。



「くすり」は人の命に関わる大切なものだから、その開発には最先端の技術が使われるんだ。
「くすり」の開発は日々進歩しているんだよ！

バイオ医薬品

微生物や細胞が持つたんぱく質（ホルモン、酵素、抗体）を利用

AI創薬

医療ビッグデータを活用し、創薬研究や臨床開発の効率化

オーダーメイド医療

患者さんの遺伝子から、1人ひとりに合わせた治療を検討

オープンイノベーション

製薬企業1社だけでなく、大学やベンチャー企業と連携

iPS細胞

薬の有効性や安全性を確かめる試験に活用
難病の治療薬発見にも

おわりに……

全6号に渡る内容となりましたが、最後まで読んで頂いてありがとうございました！

「くすり」とそれに関わる「製薬企業」を身近に感じてもらえる機会となれば、嬉しく思います。

今、製薬業界は、新薬そうしゅつが創出しにくくなってきていることや、度重なる薬価改定の影響などにより、非常に厳しい環境にあります。

それでも私たちは、その厳しさを乗り越えて、何としても必要な薬を患者さんに送り届けたいと思っています。

なぜなら、「くすり」は病気で苦しんでいる人や大切な人、子どもの未来を守ることが出来るからです。

是非、ご家族の皆さんも「くすり」のことを知っていただき、製薬企業を応援して頂けますと幸いです！！

